

森の教室 IN 藤並こども園

令和7年（2025年）12月17日（水）に藤並こども園で、和歌山県緑化推進会および国土緑化推進機構主催の「森の教室」が開催されました。

次世代を担う子どもたちに森林が持つ役割や大切さを伝えるもので、園児たちは「どんぐりくんと森の仲間たちショー」や「森のダンス」で森の楽しさを学んだ後、屋外でどんぐりのお話を聞き、芽が出るよう願いを込めながらプランターにどんぐりを植えました。



木に親しむ・触れる 「キノピー教室」開催

和歌山県と有田川町が共催で「キノピー教室」を町内こども園で開催しました。最初に、木の妖精キノピーをテーマにした紙芝居「みんなで森へいこう」の読み聞かせを行い、森林の仕組みと自然の大切さを学びました。紙芝居の後にはキノピーが登場し、お土産として「キノピーのぬりえ」と「キノピーのポケットティッシュ」をプレゼントしてくれました。また、有田川町が独自で行っている「木育」の時間として、有田川町産材のヒノキを加工し磁石を付けた木片を使って、マグネット雑貨を作りました。木の実などで装飾した個性豊かな作品ができました。

「キノピー教室」と「木育」を通じて、自然に興味を持ち、自然を大切にするという心を育んでくれることを願います。



災害時における段ボール製品の 調達に関する協定を締結

令和7年（2025年）12月10日（水）、オカジ紙業株式会社と「災害時における段ボール製品の調達に関する協定」を締結しました。

本協定は当町で大規模災害が発生した場合、または発生する恐れがある場合に、避難所の設営時に必要な物資（段ボール製ベッド・段ボール製間仕切り・段ボール製シートなど）の調達について定めたものです。協定締結により、現在整備している簡易ベッドやワンタッチパーテーションに加え、より多くの方へ災害支援を実施することが可能となります。



写真（左から）＝オカジ紙業株式会社 代表取締役社長 大岡久起さん、中山町長

高石市（大阪府）との 友好都市交流事業

令和7年（2025年）11月14日（金）から12月5日（金）にかけて、高石市との友好都市交流事業として市内の全7小学校から計485人の子どもたちが有田川町を訪れました。子どもたちは、有田川町の林業について学ぶ森林学習や鉄道交流館の見学・体験乗車、みかん狩りを楽しみました。

